

平成30年度  
北海道大学大学院理学院  
修士（博士前期）課程

自然史科学専攻  
科学コミュニケーション講座

入 学 試 験  
(専門科目)

問 題

- ◎解答用紙2枚のいずれにも受験番号と氏名、選択した問題番号を記入し、試験終了後に2枚とも提出してください。
- ◎各問題の出典となっている文献を試験中に参照することはできません。

問題 以下の8題のうちから2題を選び、それぞれ800字～1200字程度で解答しなさい。

テーマ「科学技術コミュニケーション」からの出題

1. 科学コミュニケーションと科学教育の性格の違いと歴史的経緯の違いについて簡潔にまとめよ。その上で今日の社会において本質的に重要な、両者の共通点について述べよ。

テーマ「科学技術社会論」からの出題

2. 公共空間での問題解決における二つのモデルである、技術官僚モデル（テクノクラートモデル）と民主主義モデル（デモクラティックモデル）について、それぞれの特徴を問題点も含めて述べよ。

テーマ「科学哲学」からの出題

3. 尤度が条件付き確率の形をしていることから、数学的定義に基づいて、「尤度は事前確率を前提する」とし、「尤度主義はベイズ主義を前提する」という考え方があります。この考え方に対して、尤度主義者の立場から考えられる反論を書きなさい。

テーマ「科学技術とリスク」からの出題

4. 組織が持つ安全文化について、どのように評価することができるのか。具体的な方法を示しなさい。

テーマ「博物館学」からの出題

5. 博物館の来館者の学びを明らかにするために来館者に質問紙調査と面接調査を実施する場合、調査の実施方法と分析における留意点を説明しなさい。

テーマ「博物館からの情報発信」からの出題

6. 映像を活用した博物館における事業展開として、既存の事例をあげて説明しなさい。また、既存にはない新たな事業を立ち上げる場合の計画を示しなさい。

テーマ「高等教育」からの出題

7. 『北大教養教育のすべて』の記述から一般教育演習の特徴を挙げ、その教育学的な意義について説明しなさい。

テーマ「科学教育」からの出題

8. バンデューラがいう「自己効力（self-efficacy）」とは何か、400字程度で述べなさい。また自己効力を育む具体的な学習指導について、バンデューラやスキナーらの理論をもとに400字程度で述べなさい。

平成30年度 科学コミュニケーション講座  
修士（博士前期）課程 入学試験  
専門科目解答用紙（1）

受験番号（            ） 氏名

選択した問題番号（    ）

平成30年度 科学コミュニケーション講座  
修士（博士前期）課程 入学試験  
専門科目解答用紙（2）

受験番号（            ） 氏名

選択した問題番号（    ）